第６章　リーディングプロジェクト（重点施策）

環境基本計画は、目指すべき環境像「星の瞬き　水の煌めき　緑の優しさがあふれるまち～次世代に胸を張って渡せるまちづくり～」の実現に向けた各環境分野の施策を体系的に整理した計画です。各基本施策は、本市の環境を守り、より良い環境を創り出し、次世代に継承していくことを目的としており、相互に関連性を持っています。

それらの基本施策の中から、関連性とともに下記のような条件により抽出あるいは組み合わせ、先導的に推進する取り組みとして「リーディングプロジェクト」を設定します。複数の環境分野に横断的に関わる取り組みを推進することにより、基本施策全体の実効性を高める効果が期待されます。

■リーディングプロジェクトの主な条件

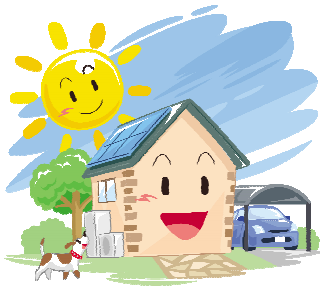
① 計画策定後、比較的早期に実行に移すことができる。
② 早期に実施することが、地域の環境づくりに有効かつ必要性が高い。
③ 環境分野間の施策を、横断的、一体的に推進することが有効である。
④ 地域活動として認知を高め、地域内外の参加と交流の活性化が期待される。

浅口市環境基本計画では、環境の現状や市民の意見等を踏まえ、次の３つのリーディングプロジェクトを設定します。

■リーディングプロジェクト

プロジェクト１．みんなで生き物を守ろう！
プロジェクト２．みんなで環境にやさしくしよう！
プロジェクト３．浅口の歴史・文化を魅せよう！

リーディングプロジェクトは、第７章に示す浅口市環境計画推進体制により、市民・事業者・行政の協働のもと効果的な推進を図ります。



プロジェクト１　みんなで生き物を守ろう！

【目　的】浅口市の自然環境とそこに生きる動植物を知り、守り、未来につないでいく。

【背　景】

遙照山系の山々から、瀬戸の海までの多彩で美しいふるさとの自然環境を大切に守り、未来に胸を張って渡せるように、さらに豊かな環境づくりに取り組んでいくことが地域の課題です。

自然環境を守るためには、市民一人ひとりが地域の環境や動植物の現状をきちんと知ること、そして実際の行動につなげることが重要です。市民アンケートでは、「自然環境の豊かさ」には「重要」とする回答が多く、意識の高さがうかがわれるものの、「動植物とのふれあい」「水と親しむ」「自然保護活動」など具体的な行動に対しては、意識の低さがうかがえる結果となっています。本市の自然環境を知ってもらうための情報発信とともに、多くの市民の行動を促す取り組みが求められます。

本市には、鳥類ではオオタカ、両生類ではナゴヤダルマガエル、植物のアッケシソウ、マルバオモダカ、オニバス等の希少な野生動植物が生息・生育しています。これらの動植物は、アッケシソウのように人の手でヨシ等を取り除くといった保護活動を続けないと絶滅してしまうおそれがあるなど、絶えず種自体の保護活動と生息地の維持管理をする必要があります。

また、鳥獣による農作物の被害や、外来生物が自然環境や在来生物に与える影響等の問題があります。農林業振興と連携した里地・里山環境の整備・保全、外来生物の実態把握と適切な対策が必要となっています。

【取り組み】

- **◆ 地域の自然環境を知る・学ぶ**
  - ➢ 自然環境の現状を知る

    ○子どもたちによる環境点検
    - ● 身近な自然環境の生物調査

      （「あさくち山環学」など、関係団体と連携した山・川・海・里山等の地域特性に応じた調査など）
    - ● 外来生物の実態把握

      （外来生物の生息マップづくりに向けた手法検討など）
    - ● 情報発信

      （結果をホームページ等で公開、市内の学校で実施されている環境学習への資料提供など）

➢　自然体験学習の推進

○身近な自然環境の中での体験学習

- 桜の名所の丸山公園、水辺の楽校の犬飼川、本州唯一のアッケシソウ自生地寄島干拓地等での体験学習の推進

（「アッケシソウを守る会」等の関係団体との連携強化、自然環境に精通した人材の発掘・育成による自然環境の変遷や現在の問題点を軸とした体験学習など）

【アッケシソウ】

環境省のレッドデータブックで、絶滅危惧種に指定されている海浜植物で、本州では唯一、寄島干拓地で自生が確認されています。

波が直接あたることの少ない海岸の入り江や塩田、干拓地などの塩湿地という特殊な環境に生育する塩生植物で、日本では北海道と岡山県、香川県でのみ自生が確認されています。茎は多くの枝に分かれ、高さ 10～40cm になります。枝は茎よりも短く、葉は退化して鱗片状になっており、秋には全体が緑から赤へと色づきます。その見た目から「サンゴソウ」とも呼ばれています。

毎年 10 月の紅葉時期には、「アッケシソウ祭り」が開催されます。

期間中は、アッケシソウを守る会会員によるガイドも行われ、地面いっぱいに広がる「紅葉」を見ようと大勢の人が訪れます。

◆ 自然環境を守る活動の促進

➢ 環境保全活動の促進

○自治会、ボランティア団体、NPO 等による自主的な環境保全活動への支援

- 動植物生息域の保全、緑化活動等への支援
- 維持管理コストの低減が図れる樹木の種類や植栽場所の検討

○市民の参加意識の醸成

- 地域の活動状況の情報提供（グリーンガード、クリーン作戦など）
- 環境カウンセラー等によるセミナーや研修会の検討

◆ 未来につなぐ仕組みづくり

➢ 里地・里山・里海の担い手づくり

- 里山整備ボランティアの育成・活用や新規登録団体の募集
- 「アッケシソウを守る会」と連携した市民参加の促進

（アッケシソウ自生地の保護活動の PR や市民や団体等への協力依頼、アッケシソウ保護を契機としたその他の生物の保護活動への波及など）

➢ バイオマス活用との連携

- 森林・里山整備により発生する枝木等のバイオマス利用

（枝木等の収集方法やバイオマス利用方法の検討など）

プロジェクト２　みんなで環境にやさしくしよう！

【目　的】より良い環境づくりのために一人ひとりの行動を促す。

【背　景】

市民アンケートでは、最も満足度が低く、重要度の高い課題として「不法投棄対策」があがっています。アンケート以外でも、「天文台に上がる道の廃棄物」「寄島の海ごみ」「ポイ捨て」「ペットの糞」「野焼きの煙」等への対策を求める市民の声が多くあります。

これらは、災害等の特別な状況を除いて、一人ひとりのマナーの向上や環境に対する意識を高め、行動を変えることで無くすことができる問題です。

一人ひとりの行動が重要となる問題としては、地球温暖化問題とエネルギー問題もその一つです。東日本大震災での原子力発電所事故以降、原子力発電への依存度低下という新たなエネルギー戦略の展開に向かうなか、地球温暖化防止対策の二酸化炭素排出量削減をどう進めるのかが大きな課題となっています。

私たちの生活に不可欠なエネルギーを永く大切に使い続けるため、省エネルギーの実践や再生可能エネルギーの活用など、みんなで力を合わせて行動していくことが求められています。

市民一人ひとりが、普段の生活や仕事の中での小さな行動を変えていくことにより、身近な地域をさらに美しく暮らしやすい環境に変えていく力となり、さらに地球環境の改善に貢献する大きな力となります。

【取り組み】

◆ **現状を知ってもらう**

➢ 現状の情報発信

- 不法投棄の現状や対策の状況等の情報発信
- 県・警察・郵便局と連携した不法投棄パトロールの実施や、地域の不法投棄パトロールを行う組織の立ち上げ
- ペットのフンの持ち帰り等のマナーの啓発
- 環境情報の効果的な発信

（市広報紙・メディア・出前講座を活用したエコドライブやごみの出し方等に関する情報の発信など）

➢ 学校・地域における教育・啓発

- 学校・地域でのごみやエネルギーに関する出前講座・DVD 貸出し
- 道徳の時間を活用したマナー教育の充実（ごみのポイ捨て防止など）

◆ **環境にやさしい暮らしの啓発**

➢ 生ごみ処理機補助金制度を活用したごみ減量化の推進

- ボカシ容器・コンポスト・電気式生ごみ処理機等の普及

➢ エネルギーを無駄にしない暮らし方の情報提供と啓発

- 市広報紙やホームページによる省エネ型生活の情報発信
- 環境家計簿の利用の促進
- 省エネルギー設備や機器の情報提供
- COOL CHOICE（クールチョイス）の普及促進

【COOL CHOICE（クールチョイス）】

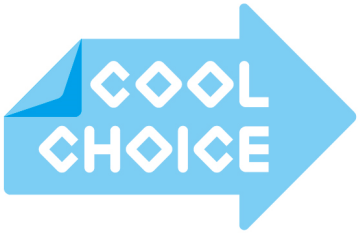
2030 年度に温室効果ガスの排出量を 2013 年度比で 26%削減するという目標達成のため、省エネ・低炭素型の製品への買換・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取り組みのことです。

■低炭素型製品への買換え

- LED、エアコン、冷蔵庫、テレビ等の省エネ製品
- 高効率給湯器等の導入
- 高気密高断熱住宅の新築・リフォーム

■低炭素サービスの選択

- 公共交通の利用
- 都市部ではカーシェアリング
- 低炭素物流サービスの利用
- スマートメーターによる「見える化」



■低炭素なライフスタイル転換

- 家庭でのクールビズ、ウォームビズ
- エコドライブ、自転車の利用
- うちエコ診断による見える化

出典：環境省ホームページ

◆ **美化活動の推進**

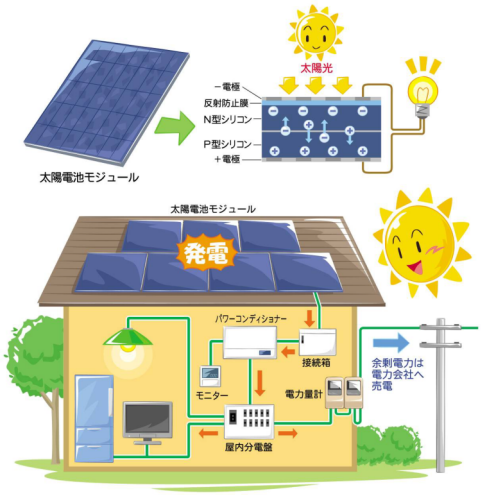
➢ 清掃・美化活動支援

- 地域の清掃・美化活動を行う団体等への支援
  （自治会や海岸清掃ボランティア団体等へのゴミ袋の支給、優れた取り組みの表彰など）
- ボランティア活動への参加促進
  （市民の参加しやすい活動機会の創出、事業者への参加・協力の要請、協議会型住民自治組織の設立による地域活動の担い手確保など）

◆ **再生可能エネルギーの普及啓発、導入支援**

➢ 再生可能エネルギーに関する情報提供

- 太陽光発電設備等の再生可能エネルギー設備に関する情報提供
- 国や県の導入補助制度等の導入支援に関わる情報提供



プロジェクト３　浅口の歴史・文化を魅せよう！

【目　的】地域の歴史・文化をみんなで守り、魅力を高める。

【背　景】

本市が、地域の環境を未来に胸を張って渡していくまちづくりを目指すうえで、地域の歴史・文化と調和したまちづくりとともに、先人から受け継いできた伝統行事や伝統文化を継承していくことが重要な課題です。

自然環境と同様に、悠久の歴史の中で生まれ、守られてきた伝統行事や伝統文化を、未来に引き継いでいくためには、地域の歴史・文化の理解を深め、地域の伝統行事を保護、継承する活動を永続していくことが求められます。

また、地域の歴史・文化の魅力を高め、広く情報発信することにより、地域内外との観光や交流を活性化することも必要となります。

歴史的建造物や史跡の保全対策とともに、市民・団体等による伝統行事の保全活動への効果的な支援、伝統行事への参加促進、観光・交流の活性化などにより、地域の歴史・文化の保全・継承を推進します。

阿藤伯海旧居

【取り組み】

◆ **地域の歴史・文化を知る・学ぶ**

➢ 市内各地域の歴史・文化に触れる

- 小・中学校でのふるさと学習
  （総合的な学習の時間を活用した地域の歴史・文化の調べ学習や地域の講師による授業など）
- 生涯学習を活用した歴史講座や伝統文化の体験教室（「ウィークエンド・わくどき体験教室」での伝統文化の体験など）

大浦神社

➢ 伝統行事を守る活動の推進

- 伝統行事の保護・継承活動を行う団体等への支援
  （補助金の交付や民間活動助成の活用、「浅口踊り交流会」の後援など）
- 地元の人を中心に講師・指導者、ガイドの育成・確保

➢ 文化・伝統行事への参加促進

- 市の広報紙やホームページ等の魅せる工夫や新たな情報発信の手法を活用
  （伝統行事の記録映像の公開など）
- 地域の歴史・伝統文化を活用した宣伝広告など、市内事業者等との連携